

# 投影番組

## 春番組『春の星座は大きいぞ!』

【投影期間】2024年3月9日(土)～2024年5月26日(日)

春の夜空は、他の季節にくらべると明るい星の数が少なく、大型の星座が多くあります。1番大きいのがうみへび座、2番目がおとめ座、3番目がおおぐま座です。

また、北の夜空を見上げると、水をくむのに使うひしゃくの形に並んでいる7つの星【北斗七星】が見つかります。北斗七星はおおぐま座のしっぽの部分にあたります。ひしゃくの柄（手で持つところ）のカーブをそのまま伸ばしていくと、うしかい座のアルクトゥールス、おとめ座のスピカ、そしてからす座とたどることができます。このカーブを【春の大曲線】と呼んでいます。

このほかに、【春の大三角】や【ししの大がま】も探してみましょ。春の星座にまつわるお話もあります。

### ★ 利 用 案 内 ★

2024年4月より投影スケジュールが変わります。

2024年3月まで

○土曜投影 11時00分～11時30分 ○日曜投影 14時～14時30分

2024年4月より2回投影になります。

○土・日曜共通 ●1回目 11時00分～11時30分 ●2回目 15時30分～16時

○プラネタリウムの投影スケジュールにつきましては、児童センターまでお問い合わせいただくか、児童センターだよりまたは、ホームページでご確認ください。

○入場は投影開始15分前からです。

○定員 100名

○投影は、幼児も観覧できますが保護者の同伴が必要です。

#### 休館日

- 毎週火曜日、祝日(5月5日を除く)
- 年末・年始(12月29日～1月3日)

#### 観覧料

○無料です。



## 伊勢崎市児童センター

〒372-0023 伊勢崎市粕川町1609  
 TEL. 0270-23-6463 FAX. 0270-23-6477  
<http://www.ise-shakyo.or.jp/>

伊勢崎市児童センター

検索



伊勢崎市児童センター

# プラネタリウム 春

2024 No.161

## 表紙「うみへび座」

「うみへび座」は東西に長い、全天で一番大きい星座です。頭部はかに座のすぐ南にあり、尾はてんびん座の南まで続いています。その背中にはろくぶんぎ座、カラス座、コップ座をのせています。心臓の位置で赤く光る2等星アルファルドは周囲に明るい星がないのでよく目立ちます。アルファルドはラテン語で「ウミヘビの心臓」を意味するコル・ヒドレという呼び方もあります。

この星座は、紀元前3500年頃のシュメール時代からある最も古い星座ですが、その当時は天の赤道と重なっていました。古代天文学者が天の赤道の位置を表すためにその上に長い星座をつくったのかもしれない。

ギリシャ神話では、頭が9つもある凶暴なヒドラとして描かれています。口から毒を吐き出し住民たちを襲って困らせていましたが、英雄ヘルクレスに退治されてしまいました。ヘルクレスとの戦いを見ていた女神ヘラは、ヒドラの死をととても悲しみ、「うみへび座」として天に上げたと言われています。

うみへび座  
Hydra

トレミーの48星座の一つ



# 春の星座

## 春の星座の探し方

春の空は、明るい星がちょっと少なくて星座を探すのが大変です。でも、べんりな星の並びがあるので、がんばって探してみよう。

### ★しし座

ししの大鎌（おおがま）とよばれる、はてなマーク「？」を逆さにしたような形に星が並んでいるところが、たてがみの部分です。その左側にある台形が、ライオンのどう体とほぼあたります。ししの大鎌の根元にある一等星がレグルスで、しっぽの先にかがやく二等星はデネボラです。

### ★かに座

しし座の右にある小さな四角形の星の並びが、かにのどう体です。どう体の四角形から、かにのはさみと足のびています。四角形の中にはプレゼベという名前の、うす明るく輝く星団があります。まるで、かにがあわを吹いたみたいですね。

### ★うみへび座

かに座の下に、星が五角形に並んでいるのが、うみへびの頭になります。そこから、左へ長くどう体が伸びています。88ある星座の中で一番大きな星座です。

### ★北斗七星・北極星・こぐま座

北の空に、明るい星が7つひしゃく形に並んでいるのが、北斗七星です。ひしゃくの水をすくう部分の先にある2つの星をつなげて5倍にのぼしてみると、その先には北極星があります。北極星がちょうどこぐまのしっぽの先になります。

### ★おおぐま座

北斗七星のひしゃくの、取っ手の部分がおおぐまのしっぽになります。

### ★うしかい座

北斗七星のひしゃくの取っ手の曲線をのぼしていくと見つかる、オレンジ色の一等星アルクトゥールスが目印です。アルクトゥールスがうしかいの足下にあたります。そして、アルクトゥールスと5つの星が作るひし形が、うしかいのどう体の部分になります。

### ★おとめ座・春の大三角

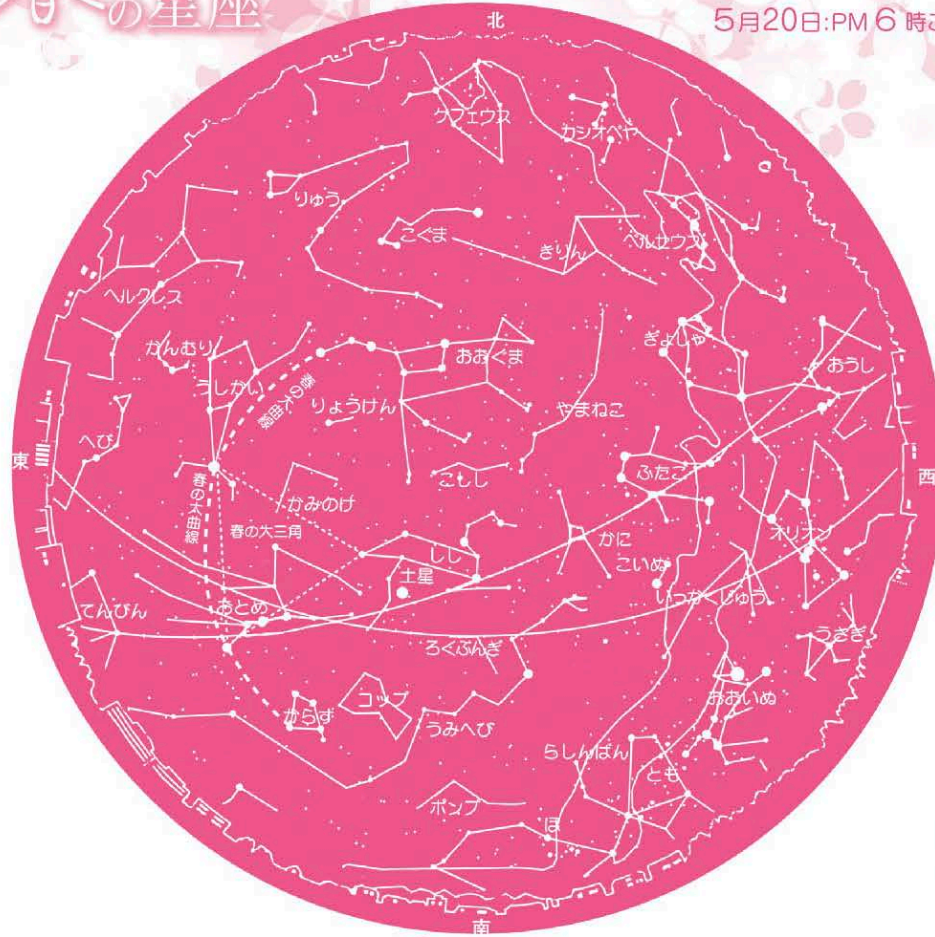
北斗七星のひしゃくの取っ手の曲線をさらにのぼしていくと、白くかがやく一等星スピカが見つかるはず。これがちょうど、おとめの持つ麦の穂先にあたります。

また、しし座のデネボラと、うしかい座のアルクトゥールスと、おとめ座のスピカで形づくる春の大三角形からでも探すことができます。

### ★からす座・春の大曲線

北斗七星のひしゃくの取っ手の曲線をさらにさらに伸ばしていくと、船に張られている帆（ほ）のような形の星の並びが見つかります。これがからす座です。

この北斗七星のひしゃくの取っ手から始めて、うしかい座のアルクトゥールス、おとめ座のスピカを通り、からす座にいたる長い道を春の大曲線といいます。



3月20日:PM10時ごろ

4月20日:PM 8時ごろ

5月20日:PM 6時ごろ

## 天体ニュース

### ポーン・ブルックス彗星

2024年は、3月のポーン・ブルックス彗星と、10月のツチンシャン・アトラス彗星が肉眼でも観測できそうだと期待されています。ポーン・ブルックス彗星は1812年に初めて発見され、今年で4周年目となり、きちんと帰って来る「実績のある彗星」と言えるでしょう。予想では3月下旬から4月にかけて、夕方西の空低いところで見られるでしょう。明るさは4等級くらいで、おひつじ座の近くで、木星が目印となるでしょう。

### こと座流星群

今年のこと座流星群は4月22日の午後4時頃に極大となる予想です。極大が日中で、一晩中明るい月が昇っている悪条件のため、1時間に数個ほどしか見られないかもしれません。南の方角に放射点が高く昇る23日深夜から明け方までが観測のチャンスになるでしょう。

### 春の大三角と春の大曲線

春の大三角は、春の夜空に輝く「うしかい座」の1等星アルクトゥールス、「おとめ座」の1等星スピカ、「しし座」の2等星デネボラを、結んでできる大きな三角形です。また、北斗七星の柄の部分3つの星からカーブを描くように線を伸ばしていくと、ひときわ明るい「うしかい座」の1等星アルクトゥールスが見つかります。さらに伸ばしていくと「おとめ座」の1等星スピカにたどりつきます。この大きなカーブは春の大曲線と呼ばれ、春の大三角とともに春の星座のガイド役になっています。

## 月のこよみ

### 3月

4日 ①下弦  
10日 ●新月  
17日 ①上弦  
25日 ○満月  
(ワームムーン)

### 4月

2日 ①下弦  
9日 ●新月  
16日 ①上弦  
24日 ○満月  
(ピンクムーン)

### 5月

1日 ①下弦  
8日 ●新月  
15日 ①上弦  
23日 ○満月  
(フラワームーン)